

安全データシート

改訂日:2017年 12月 4日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ホワイト7 SW-600
会社名 : ユーアイ化成株式会社
住所 : 兵庫県尼崎市田能6丁目1番35号
担当部門 : 研究開発部
作成者 : 山中 樹好
電話番号 : 06-4960-1666
FAX番号 : 06-4960-1333
整理番号 : SW600-02

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
皮膚腐食／刺激性 : 区分外

絵表示 なし

注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : 分類基準に該当しない
注意書き（安全対策） : 非該当
注意書き（応急措置） : 非該当
注意書き（廃棄） : 非該当
その他
ほかの危険有害性 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 : 有機酸アミン塩
精製水

4. 応急処置

吸入した場合

: 新鮮な空気のある場所に移すこと。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

: 多量の水で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合

- : 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着している場合、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

- : 水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせないこと。医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護

- : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状水、二酸化炭素、粉末消火薬剤、砂

使ってはならない消火剤

- : 利用可能な情報はない

特有の危険有害性

- : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行う者の保護

- : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 発火源を除くこと。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

- : 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気を十分に行う。

- 注意事項 :
- 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないようにする。適切な保護具を着用する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。使用後は容器を密閉する。
 - 取り扱う場合は、眼及び皮膚への接触を避ける。取扱い後は、うがい手洗いをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

安全取扱注意事項

： 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。取扱い後は、うがい手洗いをする。

保管

安全保管条件

： 容器を密閉し、直射日光、高温(40℃以上)、多湿を避けて保管する。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン、密閉できる容器

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについてはできるだけ発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理及び化学的性質

物理的状態

形状 : 透明液体

色 : 透明

pH : 7～8 (1%)

比重 : 1.1±0.03(20℃)

溶解性 : 水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性

光 : 光に当たると変色する場合がある。

通常の手扱い条件では安定。

反応性 : データなし

危険有害反応可能性

: 通常の処理ではなし。

避けるべき条件 : 高温と直射日光

混触危険物質 : 利用可能な情報はない。

危険有害な分解生成物 : 利用可能な情報はない。

11. 有害性情報

急性毒性 : ラットLD50=2500mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
その他のデータ : データなし
残留性・分解性 : 利用可能な情報はない
生体蓄積性 : 利用可能な情報はない
土壌中の移動性 : 利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 : 利用可能な情報はない

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産廃処理業者に内容を明確にして処理を委託する。
汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上) : 規制されていない。
海洋汚染物質 : 非該当
IMDG(海上) : 規制されていない。
海洋汚染物質 : 非該当
IATA(航空)
環境有害物質 : 非該当

1 5. 適用法令

国内法規

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則
: 非該当
航空法 : 非該当
化学物質排出管理促進法 : 非該当
輸出貿易管理令 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2012に準拠しております。記載内容は通常の手扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な手扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な手扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252(2010)に準拠している。*JIS: 日本工業規格